



# 平塚江南高校新聞

令和元年度第1版

## 江南は学力向上進学重点校 ・エントリー校です

学力向上進学重点校・エントリー校の生徒のみが参加できる特別なプログラムで充実した高校生活を送ろう！

### I. 海外留学プログラム

国際社会で活躍できるリーダーの育成をねらいとした海外研修が実施されている。本研修はアメリカ西海岸ロサンゼルス郊外にあるクレモントカレッジで行なわれる、リーダーシッププログラムである。現地で様々な背景を持つ人々と交流し、自由な学びのスタイルをアメリカの大学で体験することができる。語学力を向上させるだけでなく、日本の既成概念を超えて自身を見つめなおすことができ、将来の進むべき方向性を考える機会となっている。特に GEM(Global Empowerment Mindset)というセッションは、クレアモント大学の学生が参加生徒6人に1人随伴し、ディスカッション形式でリーダーシップを学ぶ授業であり、好評を博している。自分の意見や考えを人前で積極的に発表することで、プレゼンテーション力やコミュニケーション力が向上するのだ。江南高校からは昨年度、3名が参加して大きく成長し、無事帰国した。4月に行われた報告会では、全校生徒にチャレンジすることの大切さを、身につけたスキルを駆使して熱心に伝えた。後輩が後に続いてくれることを期待する。

### II. 即興型ディベート交流会

進学重点校・エントリー校17校で、ディベート交流大会が行なわれている。各校1チームが参加。1チームは標準3名で構成されている。年に数回の練習会があり、練習会参加を経て大会は11月に行なわれる。江南高校も昨年度4年連続の参加となり、昨年も優秀な成績を収めた。ディベートを通し、多面的に問題を捉える力を身につけていくことができている。

### III. 探究活動勉強会

生徒の探究活動を通じて、豊かな人間性・社会性を育むことを目標とし、勉強会が行なわれている。その中で「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめと発表」の仕方を学んでいく。特に、興味・関心などに根ざした疑問を基に、探究する意味やテーマ設定の意義を実感できる勉強会になっている。昨年度は江南高校から4名の生徒が参加し、江南高校での課題探究活動にその経験を生かすことができている。



自主自律の校訓

### 難関大学対策講座・土曜講習続々と開講！

生徒が受験した模試の結果を追跡調査し、難関大学合格に向けて支援を徹底

2019年度は全学年を対象として、土曜日に難関大学対策講座が開講されている。高校1年生の参加は4月の時点で申込者が90人を超え、入学時から学習に向かう意識の高さがうかがえる。全校では170名超の受講人数となった。

2020年度も難関大学対策講座が土曜日を中心に開講される予定である。理数教育推進校として、講座内容も「図形と方程式(軌跡・頻出問題)」「円運動」「欧米における近代国家の発展」「溶解度の取り扱い」など、理数科目が充実している。土曜講習は1年生全員を対象に4月から6月にかけて、国語と数学が行われている。高校生活をスタートした時期に学習習慣をしっかりと身につける意図がある。英語は英検やGTECの前などに対策講座が開講される予定である。英検やGTEC・TEAPなどの試験は大学入試にも資格として利用できる場合があり、今後の受験にも有利に働くだらう。

### 入学後さらに伸びる江南生 模試の結果から

江南高校では1、2年生は年3回、3年生は年4回、実力試験を全生徒対象に、特別プログラムを組んで実施している。これらは平日に実施されるため、休日に行われる模擬試験を含めると、3年生では10回以上挑戦できることになる。昨年度の1年生の実績は特に顕著だ。十一月の全国記述模試の学年偏差値はトップが80を超え、70超はクラスに2人、学年でも5人に1人が偏差値65を超えた。一月の全国模試の学年平均は、国数英3教科合計で3ポイント以上伸びている。わずか3ヶ月でこの伸び率。実は関東圏で3本の指に入る伸び率だった。2年生も十一月と一月の模試を比較すると、偏差値が2ポイント上昇している。授業に前向きに取り組む、基礎からじっくりと力をつけてきたことが、大きな要因なのだろう。

### 卒業生の進学大学

**国公立**：東北、お茶の水女子、電気通信、東京海洋、東京外語、東京工業、東京農工、横浜国立、首都大学東京、神奈川県立保健福祉、横浜市立など

**私立大**：青山学院、学習院、北里、慶応義塾、国学院、国際基督教、上智、成蹊、成城、中央、東京医科、東京女子、東京理科大学、法政、明治、明治学院、立教、早稲田、麻布、立命館、関西、関西外国語など他多数

### 習熟度別授業実施

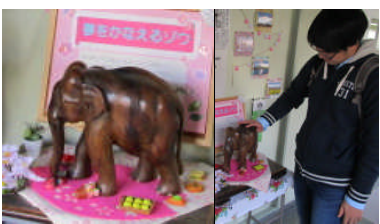
数学は1年生の後期に、数学II・数学Aで習熟度別クラスでの学習となる。定期試験の結果でクラスが分かれ、2クラス2展開で授業が行われている。基本的には同じ時間帯で授業が行われている2クラスの80名を、素点で上下40名ずつの集団に分けて直して授業クラスを作る。定期試験は習熟度に関係なく、共通試験となる。進度の早さと理解の深さを取るか、じっくりと取り組んで数学的思考をしっかりと身につけるか。習熟度別クラスを上手に利用してもらいたい。

### ★平塚江南は65分授業

登校	8:30
朝のHR	8:40~
1校時	8:50~9:55
2校時	10:05~11:10
3校時	11:20~12:25
昼休み	12:25~13:10
4校時	13:10~14:15
5校時	14:25~15:30
帰りのHR	15:35~
部活終了	18:30

1年生では基礎学力の定着を図り、2・3年生はより高度な内容の授業となる。じっくりと取り組むことができる授業時間である。

### クイズ「夢をかなえるソウ」をさがせ！！



わしは夢をかなえるソウ。何人も卒業生がわしをなでなでして大学に合格し、夢をかなえたソウ。

江南高校内のわしを探せ。必ず御利益があるソウ。

### ★JAPAN e-Portfolio「高大接続ポータルサイト」の活用

e-Portfolioとは、文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業で構築・運営されるポータルサイトだ。生徒は高等学校での学校内外の活動をeポートフォリオとして記録していく。これらの記録は、生徒の活動の振り返りとして教員も確認できる仕組みだ。2019年度入試からは個別大学のインターネット出願システムとの連携が開始されている。

eポートフォリオとしての生徒個人の記録は、学校の授業や行事・部活動などでの学びの記録でもある。また、自身で取得した資格や検定、ボランティアやインターンシップといった学校以外での活動の成果も記録する。これにより生徒は、自分自身で主体的に学習記録を情報として蓄積し、そのデータを大学入試時に利用することができるのだ。登録した「学びのデータ」は月ごとにまとめて閲覧が可能となる。自分がどんな種類の学びについて積極的に取り組んでいたかを確認できる。学年の早いうちからこまめに記入し、将来に向けてどのような学びをし、どのような成果につなげていくのかを考え、実行しよう。

### ★スタディサプリで隙間時間の活用 ~部活との両立~

ほとんどの高1の生徒がスマートフォンにアプリをインストールして活用しているスタディサプリ。自宅ではパソコンで、登録した講義動画を視聴したり、確認テストを行ったりして、配信される課題に随時取り組んでいる。興味のある分野を先取りで学習したり、苦手な分野を克服したりするために使用している生徒も多いようだ。学校からは週末課題や夏休みなどの長期休業中にある程度のまとまった宿題が配信される。

また、ネット上で課題の到達度を先生に知らせたり、デジタルでメモを取ったり、日々の学びや気づきを記録することもできる。部活などの課外活動の結果をメモし、将来に向けて自分自身を理解する手助けにもなっている。江南高校では30年度からスタディサプリを全員に登録してもらい、自学自習に活用している。定期的に確認テストが行われ、学習の成果を確認して定着が図られている。

通学のバスの中、電車の中、試合の待ち時間等、隙間時間を上手に使おう！